

台湾巨匠傑作選2021
ホウ シャオシエン
 侯孝賢監督デビュー40周年記念

※2020年台湾金馬獎 終身成就獎受賞※

人を感動させるなら、
 まずは自分を感動させることから
 — 侯ウ・シャオシエン

侯ウ・シャオシエン

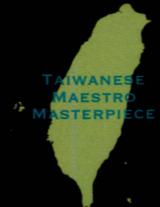
Hou Hsiao Hsien 大特集

侯ウ・シャオシエン 監督作品・出演
 及びプロデュース作品を一挙公開!!
 そして今年も開催します! 未公開台湾映画
 上映&解説 江口洋子スペシャルセレクト!
全16本連続上映!

開催記念特別上映 監督第2作
風が踊る デジタルリマスター1版
 4Kデジタルリマスター1版 劇場初上映
 フラワーズ・オブ・シャンハイ
 隠れた名作台湾映画発掘!
 貴重な未公開映画上映&解説
 江口洋子スペシャルセレクト



6/18(金) >>>
 7/15(木)
UPLINK 吉祥寺



台湾巨匠傑作選2021 開催にあたって

2020年に巨匠ホウ・シャオシエンが監督生活40周年を迎え、さらに11月には名誉賞である金馬獎終身成就獎を受賞したことを記念し、現在日本で上映可能な監督作品、出演作品、プロデュース作品を特集する。色褪せない永遠の息吹の記憶から、今も熱い世界的巨匠の軌跡を一挙に体験してほしい。(監督デビュー40周年記念開催は、2020年に開催する予定が延期になりました)

●上映スケジュール ※上映時間は未定です。劇場にお問い合わせください。

6月18日(金)	風が踊る	よい子の殺人犯	童年往事
6月19日(土)	風が踊る	High Flash 引火点	冬冬の夏休み
6月20日(日)	童年往事	大仏+	風櫃の少年
6月21日(月)	風が踊る	狂徒	黒衣の刺客
6月22日(火)	冬冬の夏休み	アリフ・ザ・プリン(セ)ス	風が踊る
6月23日(水)	坊やの人形	One Day いつか	ナイルの娘
6月24日(木)	風が踊る	童年往事	坊やの人形
6月25日(金)	フラワーズ・オブ・シャンハイ	坊やの人形	
6月26日(土)	フラワーズ・オブ・シャンハイ	童年往事	
6月27日(日)	フラワーズ・オブ・シャンハイ	風櫃の少年	
6月28日(月)	フラワーズ・オブ・シャンハイ	冬冬の夏休み	
6月29日(火)	フラワーズ・オブ・シャンハイ	ナイルの娘	
6月30日(水)	フラワーズ・オブ・シャンハイ	黒衣の刺客	
7月1日(木)	One Day いつか	坊やの人形	
7月2日(金)	冬冬の夏休み	風櫃の少年	
7月3日(土)	風が踊る	ナイルの娘	
7月4日(日)	童年往事	台北ストーリー	
7月5日(月)	ナイルの娘	冬冬の夏休み	
7月6日(火)	風櫃の少年	ナイルの娘	
7月7日(水)	台北ストーリー	黒衣の刺客	
7月8日(木)	黒衣の刺客	風が踊る	
7月9日(金)	フラワーズ・オブ・シャンハイ		
7月10日(土)	冬冬の夏休み		
7月11日(日)	風が踊る		
7月12日(月)	黒衣の刺客		
7月13日(火)	台湾新電影時代		
7月14日(水)	フラワーズ・オブ・シャンハイ		
7月15日(木)	風櫃の少年		

開催記念!
パンフレット別冊 発売!
侯孝賢 台湾映画地図
 [永久保存版]
 川本三郎 × 宮崎祐治(絵)
 (上映劇場限定販売)
 定価: 1,000円(税込)
 台湾、そしてホウ作品に造詣の深い川本三郎氏と、キネマ旬報誌などでお馴染みのイラストレーターの宮崎氏による、ロケ地にまつわるエッセイ&イラスト。

<https://taiwan-kyosho2021.com/>

f 台湾巨匠傑作選2021 @ twkyosho2021

※新型コロナウイルス感染予防対策の一環で、スケジュールが予告なく変更となる場合がございます。詳細はHP、SNSでご確認ください。

当日料金(税込): 一般 ¥1,500 / シニア ¥1,200 / ユース(19歳~22歳) ¥1,100
 アンダー18(16歳~18歳) ¥1,000 / ジュニア(15歳以下) ¥800
 UPLINK会員 ¥1,100 / UPLINKユース会員(22歳以下) ¥1,000

※K's cinemaで販売しました「台湾巨匠傑作選2021ホウ・シャオシエン大特集」の前売鑑賞券もご使用になれます。

吉祥寺 PARCO 地下2階 **UPLINK 吉祥寺** 0422(66)5042
joji.uplink.co.jp/

2021年
6月18日[金] >>> 7月15日[木]

『恋恋風塵』『悲情城市』など、不朽の名作を侯孝賢と創り上げてきた女流作家/脚本家、朱天文が描く
「台湾映画がもっとも輝いていた、あの日々」

侯孝賢と私の台湾ニューシネマ

書籍も発売!

1983年の『風櫃の少年』以来、侯孝賢の全ての作品の脚本を担当し、他の誰よりも彼を知り尽くした一人の女性がいた。それが朱天文である。台湾では小説家、エッセイストとしても名高い彼女は、脚本執筆のかたわら侯孝賢の仕事をつぶさに観察し、表面的な映画論にはとどまらない、生身の映画監督の姿をとらえた優れたエッセイを数多く発表している。この本は、そんな中から特に、80年代台湾で起こった奇跡の映画ムーブメント「台湾ニューシネマ」をその渦中から描いた作品を中心に編んだ、珠玉のエッセイ集。秘蔵写真も盛りだくさん。これを読めば、またあなたも台湾映画を観たくなる!



朱天文 著/樋口裕子 小坂史子 編・訳/解説: 宇田川幸洋
 2021年4月1日発売 定価2,750円(税込) 竹書房



カバー写真撮影: エドワード・ヤン

配給: オリオフィルムズ 提供: 竹書房 / オリオフィルムズ
 配給・宣伝協力: ストラヴィス 宣伝: 竹田美智留(映画宣伝)
 協力: 竹書房 熱帯美術館ENGAWA | デイメン
 ション 華文創股份有限公司 | 貴金影業傳媒股份有限公司 | 時光草電影有限公司 | 安輝映畫有限公司 | 開世電影股份有限公司 | 曼菲聯創製作有限公司 | 東京国際映画祭 | アジアンパタイス | 台湾映画同好会 (株) (有)

後援: 台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

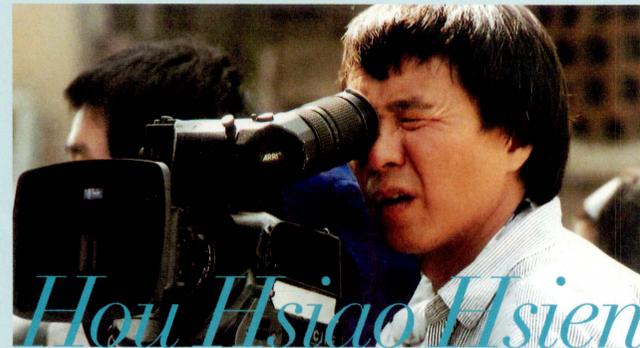
台湾巨匠傑作選2021

ホウ・シャオシェン
侯孝賢監督デビュー40周年記念 2020年台湾金馬獎
終身成就獎受賞

ホウ・シャオシェン 大特集

プロフィール Profile

1947年中国広東省梅県生まれ。72年、国立芸術学院映画・演劇科卒業。80年『ステキな彼女』で監督デビュー。83年若手監督3人によるオムニバス映画『坊やの人形』を発表する。同年の『風櫃の少年』とその翌年の『冬の夏休み』で、ナント三大陸映画祭グランプリを2年連続で受賞。続く『童年往事 時の流れ』(85)がベルリン国際映画祭で国際批評家連盟賞を獲得し、エドワード・ヤンとともに台湾ニューシネマ代表的存在となる。少年時代を扱った四部作(『風櫃の少年』から87年の『恋恋風塵』)の後、『悲情城市』(89)を監督。同作はヴェネチア国際映画祭でグランプリに輝き、93年には『戲夢人生』でカンヌ国際映画祭審査員賞を受賞。その他の主な作品『好男好女』(93)、『憂鬱な楽園』(96)、『フラワーズ・オブ・シャンハイ』(98)、『ミニウム・マンボ』(01)、『珈琲時光』(03)、『百年恋歌』(05)、『黒衣の刺客』(15)。20年に金馬獎で名誉賞である終身成就賞を受賞した。



ホウ・シャオシェン監督作品 (製作年順)

坊やの人形



1983年 / 108分 / 台湾
出演: チェン・ホージョン、ヤン・リーイン
60年代前半の台湾を舞台に必死に生活を送る人々の姿を描く。「坊やの人形」「シャオチの帽子」「りんごの味」の三部作で構成されている。監督は「坊やの人形」がホウ・シャオシェン、「シャオチの帽子」がソン・ジュアンジャン、「りんごの味」がワン・レン。台湾ニューシネマの誕生を告げた記念作。
[上映日 ※全4回] 6/23(水) || 6/24(木) || 6/25(金) || 7/1(木)

風櫃の少年



★第6回ナント三大陸映画祭 グランプリ
★1985年アジア太平洋映画祭 最優秀監督賞
1983年 / 101分 / 台湾
出演: ニウ・チェンザン、チャン・シー
澎湖島の風櫃に住むアチンと彼の友人たちは悪戯や喧嘩をして日々を過ごしていた。ある日、対立するグループとの争いが警察沙汰となり、家に戻れなくなった彼らは高雄に行くことを決める。世界の映画作家に多大な影響を与えた一作。
[上映日 ※全5回] 6/20(日) || 6/27(日) || 7/2(金) || 7/6(火) || 7/15(木)

冬の夏休み



★第7回ナント三大陸映画祭 グランプリ
★第30回アジア太平洋映画祭 最優秀監督賞
1984年 / 98分 / 台湾
出演: ワン・チークワン、リー・ジュゼン、グー・ジュン
祖父の住む田舎でひと夏を過ごす幼い兄妹トントンとティンティンを通して、人との出会い、自然の美しさや子供たちの友情を描く。盟友エドワード・ヤンが特別出演している。
[上映日 ※全6回] 6/19(土) || 6/22(火) || 6/28(月) || 7/2(金) || 7/5(月) || 7/10(土)

デビュー第2作

開催記念特別上映 風が踊る [デジタルリマスター版]



1981年 / 92分 / 台湾 原題: 風兒踢踏踩
監督・脚本: ホウ・シャオシェン
助監督: シュー・シューチェン プロデューサー: ヤオ・バイシュエ、チェン・クンホウ
撮影: チェン・クンホウ、ライ・チェンイン 照明: ホアン・ジンツァン
編集: リャオ・チンソン 音楽: スオ・ホンユエン
出演: フォン・フェイフェイ、ケニー・ビー、アンソニー・チェン、メイ・ファ

CMの撮影で澎湖島を訪れた女性カメラマン・シンホエは、事故で視力を失った青年・チンタイと知り合う。その後ふたりは台北で偶然再会を果たすが…。1970年代に映画界に足を踏み入れ、1980年に監督デビューを果たした巨匠ホウ・シャオシェン監督。2020年に監督生活40周年を迎えたホウ監督が台湾ニューシネマ以前に立て続けに発表した初期三部作『ステキな彼女』(80)『風が踊る』(81)『川の流れるに草は青々』(82)は、いずれも台湾・香港のアイドルを主演に起用し、台湾の新たな時代の移り変わりを爽やかな恋に乗せたラブストーリーだ。数年後に大きなうねりとなり、台湾のみならず世界中の映画人に大きな影響を及ぼすことになる台湾ニューシネマそれ以前の台湾映画の作風を継承しつつ、ニューシネマ作品の片鱗をも覗かせる監督初期三部作。その中から、1980年代初頭の、民主化へと向かいつつある戒厳令下の台湾社会を背景に、伝統的な家族観や結婚観と自由恋愛の間で揺れ動く自立した女性の心理を、澎湖島、台北、鹿谷を舞台にキャッチーな歌謡曲と共に、軽やかに描いた第2作『風が踊る』が今、デジタルリマスター版で蘇る!

[上映日時 ※全8回] 6/18(金) || 6/19(土) || 6/21(月) || 6/22(火) || 6/24(木) || 7/3(土) || 7/8(木) || 7/11(日)

童年往事 時の流れ



★第22回金馬獎 最優秀助演女優賞・最優秀脚本賞
★第36回ベルリン国際映画祭 国際批評家連盟賞

1985年 / 138分 / 台湾
出演: ユー・アンジュン、シン・シューフェン
少年の成長の年代記を、彼と家族の日常をめぐるささやかな出来事で綴る。主人公のアハは、1947年広東省に生まれ、1歳のときに一家で台湾に移住した。ガキ大将的存在のアハだったが病弱な父は、アハの心に小さな影を落とす。監督初期代表作。

[上映日 ※全5回] 6/18(金) || 6/20(日) || 6/24(木) || 6/26(土) || 7/4(日)

ナイルの娘



★第5回トリノ国際映画祭 審査員特別賞
★第24回金馬獎 最優秀音楽賞

1987年 / 93分 / 台湾
出演: ヤン・リン、ヤン・ファン、シン・シューフェン
母を亡くし、父は遠い町に暮らす孤独な少女、シャオヤン。彼女は「ナイルの娘」という日本の漫画に夢中。兄の経営するレストランで働くアサンという男に想いを寄せる彼女だったが、ある日アサンはヤクザの情婦と恋に落ちてしまう…。少女の眼が捉えた台北の夜の闇に生きる青春群像を、独特の静寂の中に描く異色作。

[上映日 ※全5回] 6/23(水) || 6/29(火) || 7/3(土) || 7/5(月) || 7/6(火)

黒衣の刺客



★第68回カンヌ国際映画祭 最優秀監督賞、カンヌ・サウンドトラック賞
★第52回金馬獎 最優秀作品賞、最優秀監督賞、最優秀撮影賞、最優秀メイク&衣裳賞、最優秀音響効果賞
2015年 / 108分 / 台湾・中国・香港・フランス
出演: スー・チー、チャン・チェン
9世紀、唐代の中国。13年前に誘拐された後、刺客として育てられた隠娘が両親の元へ帰ってくる。その任務は、かつての許婚者であり、今は地方財政を牛耳る暴君となった田泰安を倒すことだった。

[上映日 ※全5回] 6/21(月) || 6/30(水) || 7/7(木) || 7/8(木) || 7/12(月)

良い夢をご覧ください —ホウ・シャオシェン

劇場初上映 フラワーズ・オブ・シャンハイ

[4Kデジタルリマスター版]



★第51回カンヌ国際映画祭コンペティション部門正式出品

1998年 / 114分 / 日本・台湾 原題: 海上花
エグゼクティブプロデューサー: ホウ・シャオシェン
原作: ハン・チーユン、チャン・アイリン『海上花列伝』 監督: ホウ・シャオシェン
脚本: チュー・ティエンウェン 撮影: リー・ピンビン、チェン・ホアイエン
美術: ホワン・ウェンイン 編集: リャオ・チンソン
音楽: 半野喜弘 製作: ヤン・タンクエイ、市山尚三
出演: トニー・レオン、羽田美智子、ミシェル・リー、カーリーナ・ラウ、ジャック・カオ、ウェイ・シャホエイ、レベッカ・バン、伊能静

ホウ・シャオシェン監督が初めて挑んだ時代劇。19世紀末の清朝末期、上海のイギリス租界の高級遊郭を舞台に男たちと娼婦たちの愛の葛藤を描きだす。郷愁の田園風景や現代の台湾を舞台にしたロケ撮影が特徴でもあったホウ作品とは異なり、屋内での撮影、長編小説の映画化、上海語のセリフ、そしてトニー・レオン、羽田美智子、ミシェル・リーにカーリーナ・ラウなど大スターの起用という、それまでの作風から新たな地平へと踏み込んだ華麗な傑作。華やかだが閉ざされた遊郭という空間だけで繰り広げられる男女の駆け引きを、ホウならではのカット割りや極力排したワンシーワンカット手法で描写する。暗い室内に浮かぶランプの光線が美しい、名手リー・ピンビンによる撮影もまた見事。2019年東京フィルメックスにて、4Kデジタルリマスター版の世界初上映に際して、ホウ本人が「良い夢をご覧ください」とコメントを寄せたように、夢のような映画体験を堪能できる。カイエ・デュ・シネマ誌1998年ベスト第1位。4Kデジタル修復は、ヴィスコンティ、フェリーニ、ゴダール作品などクラシック名作の修復を手掛けるイタリアのラポル・Imagine Ritorvataで行われた。

[上映日時 ※全8回] 6/25(金)~6/30(水) || 7/9(金) || 7/14(木)

ホウ・シャオシェン出演作品 (製作年順)

台北ストーリー [デジタルリマスター版] 監督: エドワード・ヤン



★第38回ロカルノ国際映画祭 審査員特別賞
1985年 / 119分 / 台湾
出演: ホウ・シャオシェン、ツァイ・チン、ウー・ニェンチェン
80年代なかば、過去に囚われた男と未来に想いを馳せる女のすれ違いが、変わりゆく台北の街並みに重ねられ、やがて思いもよらない結末を呼び込む。エドワード・ヤン監督、ホウ・シャオシェン主演…台湾ニューシネマの若き才能たちが絡み結した、奇跡的作品。
[上映日 ※全2回] 7/4(日) || 7/7(木)

台湾新電影 (ニューシネマ) 時代 監督: シエ・チンリン



★第71回ヴェネチア国際映画祭正式出品
2014年 / 109分 / 台湾
出演: ホウ・シャオシェン、ツァイ・ミンリヤン、黒沢清、是枝裕和
80年代、台湾映画界に新しい潮流をもたらした、世界の映画史にその名を刻んだ「台湾ニューシネマ」。その足跡と後世に与えた影響を、世界の名だたる映画人たちのインタビューを通して浮き彫りにするドキュメンタリー。
[上映日 ※全1回] 7/13(火)

ホウ・シャオシェンプロデュース作品



監督: ホウ・チーラン ※特別上映
★第60回ベルリン国際映画祭 フォーラム正式出品
2010年 / 93分 / 台湾
出演: シエ・シンイン、チャン・シューハオ
高雄と金門島を結ぶフェリーで働くシンインは、忽然と人が消えてしまった深夜の船内で若い兵士アツオンと出会う。シンインはアツオンから「これは夢の中だ」と告げられ…。夢と現実、記憶と時間が織りなす、幻想的なロマンチック・ラブストーリー。主演は「黒衣の刺客」で湖姫を演じたシエ・シンインと、本作が映画初主演のチャン・シューハオ。
[上映日 ※全2回] 6/23(木) || 7/1(木)

【隠れた名作台湾映画発掘! 貴重な未公開映画上映&解説】

今年も開催!

江口洋子スペシャルセレクト

各回上映終了後、江口洋子さんによる解説映像を上映します

大仏+ 監督: ホアン・シンヤオ



★第54回金馬獎最優秀新人監督賞・最優秀撮影賞ほか
★第19回台北映画祭100万元大賞・最優秀長編劇映画賞ほか

2017年 / 104分 / 台湾
出演: チェン・ジューシェン、ジュアン・イーヅァン、ダイ・リーレン

大仏の製造工場の警備員菜脯は毎晩暗所でテレビを見ながら監視しているが、ある大雨の日にテレビが壊れてしまい、よく遊びに来ると財布と一緒に退屈のぎに社長のドライレコーダーをのぞき見る。そこにはテレビドラマよりもおもしろいライブ映像が展開しているのだった。
[上映日 ※全1回] 6/20(日)

狂徒 監督: ホン・ズーシュアン



★第56回金馬獎 最優秀撮影賞・最優秀アクション賞

2018年 / 85分 / 台湾
出演: ウー・カンレン、リン・ジャーシー、シエ・シンイン
台湾では珍しいサスペンス・アクションで、ホン・ズーシュアン監督の長編第一作。かつてプロバスケの選手だった文書は、あるスキャンダルによりバスケットを追放され、困窮の果てに車泥棒を働き警察に追われる身に…。
[上映日 ※全1回] 6/21(月)

よい子の殺人犯 監督: ジャン・ジンシェン



2018年 / 80分 / 台湾
出演: ホアン・ハー、ワン・チェンリン
アニメオタクと貧困家庭や孤独、引きこもりなどの社会問題も盛り込んだ作品。母親と認知症の祖父と暮らすアニメオタクでニートの阿南は、ミアア間の女の子に恋をする。彼女が欲しがるとしてグッズを買うためにバイトを始め、祖父の預金をこっそり借りて購入。彼女との甘い夢が実現しようとした矢先、思いも寄らないことが起こる。そして、家庭ではとんでもないことが…
[上映日 ※全1回] 6/18(金)

High Flash~引火点 監督: ジャン・ジンシェン



2018年 / 114分 / 台湾
出演: ウー・カンレン、ヤオ・イーティー、チェン・イーウェン
環境汚染と腐敗政治に翻弄される庶民と、その間に果敢に挑む法医学者と検事を描いた社会派ミステリー。環境汚染に苦しむ高雄の小さな漁村で、漁民たちの抗議行動の最中に焼身自殺体が発見。遺体には青く光る腎臓が…解剖を担当した法医学者と事件を担当する検察官が調べていくうち、驚くべき真相が露呈していく。プロデューサーはシルヴィア・チャン。
[上映日 ※全1回] 6/19(土)

アリフ・ザ・プリン(セ)ス 監督: ワン・ユーリン



2017年 / 95分 / 台湾
出演: ウジョンオン・ジャイ・アリドフ、チャオ・イーラン、ウー・ボンホン
原住民のゲイの青年と彼の生き方や彼を取り巻く仲間、家族の人間模様を描いた、笑って泣けるヒューマンドラマ。パイワン族の青年アリフは、手術で完全な女性になることを目標に台北でヘアスタイリストとして働いている。彼の悩みは、台東で一族の頭目をしている父の跡目を継がなければならないことだった。
[上映日 ※全1回] 6/22(火)

◆江口洋子プロフィール

台湾映画コーディネーター。民放ラジオ局で映画情報番組やアジアのエンタメ番組を制作し、2010年より2013年まで語学留学を兼ねて台北に在住。現在は拠点を東京に戻し、東京と台北を行ったり来たりしながら映画・映像、イベント、取材のコーディネーター、記者、ライターなどで活動。2012年から台湾映画「KANON」の製作スタッフをつとめた。2016年から台湾文化センターとの共催で年8回の台湾映画上映&トークイベントを実施。毎回瞬時に満席となる人気。